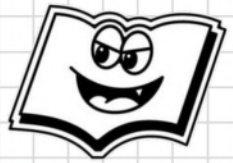


ABCアッセンブル



どんなゲーム？

場のカードに合わせて手札の同じ品詞・同じスペルのカードを出していくカードゲーム！手札を出し切った人が勝利！

① ゲームの始め方（セットアップ）

各プレイヤーに7枚ずつカードを配り、手札にします。
全員に配り終えたら残りを山札にし、じゃんけんでスタートプレイヤーを決めます。



山札からカードを1枚めくり表にして、場のカードとします。
めくったカードが【前置詞カード】【スペシャルカード】だったら、そのカードを山札の1番下に戻して、次のカードを表にします。

準備が整ったら、スタートプレイヤーから順番に【②自分の番でできること】を行います。

ゲーム開始時の場（4人の場合）



各プレイヤーの手札（7枚）



山札



場のカード



各プレイヤーの手札（7枚）



② 自分の番にできること

1：山札からカードを1枚引くことができます。引かなくてもOKです。
ただし、手札のカードを場に出せないときは、必ず1枚引かなければなりません。

2：手札のカードを場に出すことができます。
手札のカードを出せないとき、出たくないときは「パス」して、次のプレイヤーの番になります。カードの出し方は、2ページの【カードの出し方】を参照してください。

手札が最後の1枚になったら「アッセンブル！」と宣言しよう！宣言し忘れて、他のプレイヤーに指摘されたら、山札からカードを2枚引かなければなりません。



③ ゲームのあがりかた（勝利条件）

手札をすべて出し切ったプレイヤーが勝利となります。

3人以上でプレイしているときは、最後の1人になるまでゲームを続けよう！

Assemble（アッセンブル）は
組み立てる・集まるという意味





初級編 (チュートリアル)

基本を把握するための導入ルールです。ルールが分かったら【中級編】【上級編】をやってみよう！【初級編】では【前置詞カード】は使わないので、抜いておこう。

★ カードの出し方

【初級編】では自分の番に手札のカードを場に1枚ずつ出します。
【中級編】【上級編】ではまとめて2枚以上出せるようになります。
手札のカードは、次の3通りの方法で場に出せます。



前置詞カード

初級編では
使いません



1 品詞で出す

場のカードと同じ品詞(同じ色)のカードを出せます。
場に出せる品詞カードは、次の4種類！



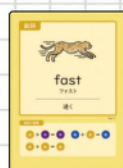
名詞カード



動詞カード



形容詞カード



副詞カード

同じ品詞【名詞】なので出せる



手札のカード
【名詞】



場のカード
【名詞】

2 スペルで出す

同じ子音のアルファベット【d】を
含んでいるので出せる



手札のカード
【動詞: read】



場のカード
【名詞: spider】

品詞が違っていても、場のカードと同じ子音のアルファベットを含むカードを1枚出せます。
子音とは母音 (a, i, u, e, o) 以外のこと。

このとき、場のカードは出されたカードの品詞に変わります。
左図の場合、場の品詞が【動詞】に変わります。

1人目のプレイヤーがあがったら、同じ母音を含むカードも出せるようになります。

3 スペシャルカードを出す

スペシャルカード (SPカード) は、場のカードの品詞やスペルに関係なくいつでも出せます。
ただし、最後の1枚でSPカードを出してあがることはできません。

SPカードを出したら、そのカードの効果が発動します。
効果はそれぞれのカードを参照してください。

場の品詞はその前の品詞のまま変わりません。スペルは出されたSPカードを参照します。
右図の場合、品詞は【形容詞】、スペルは【steal】になります。

【スペシャルカード】は品詞・スペルに
関係なくいつでも出せる



手札のカード
【スペシャル】



場のカード
【形容詞】



修飾と前置詞の使い方

形容詞や副詞は他の語を「修飾」できるよ
「修飾」とは意味を付け加えたりすること



【中級編】【上級編】では、**手札の品詞カード**を組み合わせ**て【ブロック】を作れます**。
手札で作った【ブロック】はまとめて場に出すことができます。

【ブロック】は【品詞で出す】ときに使います。【スペルで出す】ときには使えません。
【ブロック】を出したときは、場のカードは【ブロック】と同じ品詞になり、スペルは後に出されたカード（場の1番上のカード）を参照します。

【ブロック】を場に出すときは、下の①～⑥を参考にして左から順番に出してください。

① 形容詞を使ったブロック

① 形容詞 + 名詞 = 名詞ブロック

形容詞は名詞を修飾します。

右図では、場のカードの品詞は【名詞】、スペルは【bird】になります。



② 副詞を使ったブロック

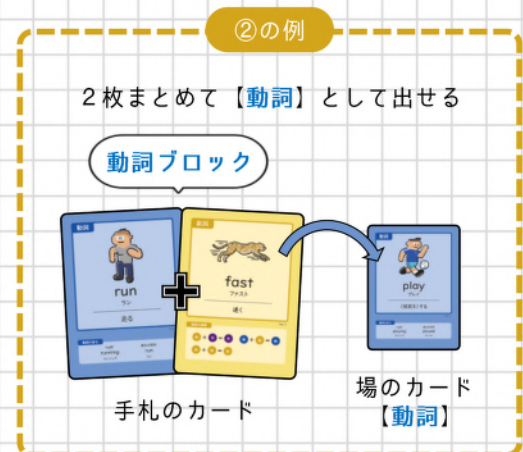
② 動詞 + 副詞 = 動詞ブロック

③ 副詞 + 形容詞 = 形容詞ブロック

④ 副詞 + 副詞 = 副詞ブロック

副詞は動詞・形容詞・副詞を修飾します。

右図では、場のカードの品詞は【動詞】、スペルは【fast】になります。



③ 前置詞を使ったブロック

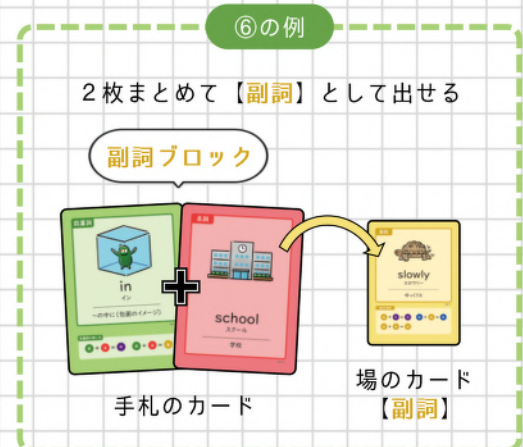
前置詞カードは1枚だけで場に出すことはできません。
名詞カードと合わせて【ブロック】を作って出します。
前置詞で作った【ブロック】は修飾を受けられません。

⑤ 前置詞 + 名詞 = 形容詞ブロック

⑥ 前置詞 + 名詞 = 副詞ブロック

前置詞は名詞と合わせて副詞・形容詞になります。

右図では、場のカードの品詞は【副詞】、スペルは【school】になります。





中級編（修飾入門ルール）

修飾を使って【ブロック】を作り、1度に2枚までのカードを組み合わせて出せます。

【ブロック】の作り方は、3ページの【修飾と前置詞の使い方】を確認してください。

【中級編】からは【前置詞カード】を使います。【前置詞カード】は1枚だけで場に出すことはできません。3ページを参考に【ブロック】を作って出しましょう。



上級編（修飾マスタールール）

ここからが本番！
修飾を使いこなせ！

【ブロック】を使って、他の品詞カードや【ブロック】を修飾できるようになります。

1度に最大5枚までのカードを組み合わせて出せます！

ただし、1度に出せる同じ品詞カードは2枚までとなります。



【形容詞ブロック】が【名詞】を修飾して
3枚で1つの【名詞ブロック】が完成！



【名詞ブロック : very good doctor】

【副詞ブロック】が【形容詞】を修飾して
3枚で1つの【形容詞ブロック】が完成！



【形容詞ブロック : really very large】



【前置詞】を使ったブロックは他の語・ブロックを後ろから修飾するので注意！

【副詞ブロック】が【動詞】を後ろから修飾して
3枚で1つの【動詞ブロック】が完成！



【動詞ブロック : study at library】

【形容詞ブロック】が【名詞ブロック】を後ろから
修飾して4枚で1つの【名詞ブロック】が完成！



【名詞ブロック : small cat in school】

【上級編】では1度にたくさんのカードを出せますが、出す順番などが少し複雑になります。より詳しい【修飾のルール】【カードを出す順番】はホームページにまとめてありますので、右のQRコードからご確認ください。



注意点



実際の英語では、語と語の修飾関係や前置詞の使い方には、単語によって多くの例外があります。このゲームでは、あくまで3ページの【修飾と前置詞の使い方】を基本ルールとしています。そのため、実際の英語とは異なる使い方であっても、ゲーム上では「修飾してよい」としています。また、このゲームでは「a, an, the」といった冠詞はありません。ゲームを遊びやすくするための仕様なので、ご了承ください。

